



## 省エネ・環境教育報告書（3）

開催日時	2014年 10月 27日（月） 15:10～15:55
受講者	宇部市立 藤山小学校 エコクラブ（4～6年生） 17名
タイトル	ごみって何だろう
講師	NPO法人うべ環境コミュニティー 浮田 正夫氏（山口大学名誉教授）
内容	<p>人が作るものは全てごみになる。現在の大量消費社会はモノを作り、使う活動ばかり大きく、出てくるごみを処理する活動はそれに比べて非常に小さい。</p> <p>ごみは世界中の問題で、途上国でも大きな問題になっているが、豊かな国ほどごみが多い。人間社会と自然のしくみが食い違っているため、人が出すごみで自然がたいへん迷惑している。</p> <p>ごみの性質（燃えるものか、自然に分解するか、異なるものが混じっているか）に注意して、しっかり分別することが大事、たとえばプラスチックと食べ物ごみを分けることが大切であることなどを、図と写真や歌によって学習した。</p>
感想	<p>人が作るものは全てゴミになるという話、当然とはいえショックでした。短い時間でしたがゴミの出し方から哲学まで、ゴミに関するエトセトラの詰まった授業でした。初めの10数分間、パソコンからプロジェクターへの通信が悪く、準備された資料を十分に説明される時間が足りず、心残りの部分もありました。時間にもう少しゆとりがあれば、先生と生徒のコミュニケーションがもっとできてよかったですと感じました。</p>
写真	<div style="text-align: center;">  <p>1-資料を広げて先生の話聞く生徒達</p>  <p>2-映像を使って説明される先生</p> </div>